

桜とエレベータと哲学とショパン

2022/03/28



みんな親切

息子たちに桜が咲いた写真を送ろうと家の前に立って佳世の写真を撮っていたら、腕に赤い腕章をつけた女の子の警官(らしき人)が桜の開花記録を撮りに来ていました。「お二人のツーショットを撮りましょうか？」というのでお願いしました。それが、この写真です。「ついでに、お仲がいいのでわたしも撮りたいです」といって自分のカメラで撮ってくれました。「ありがとう」とお礼をいいました。

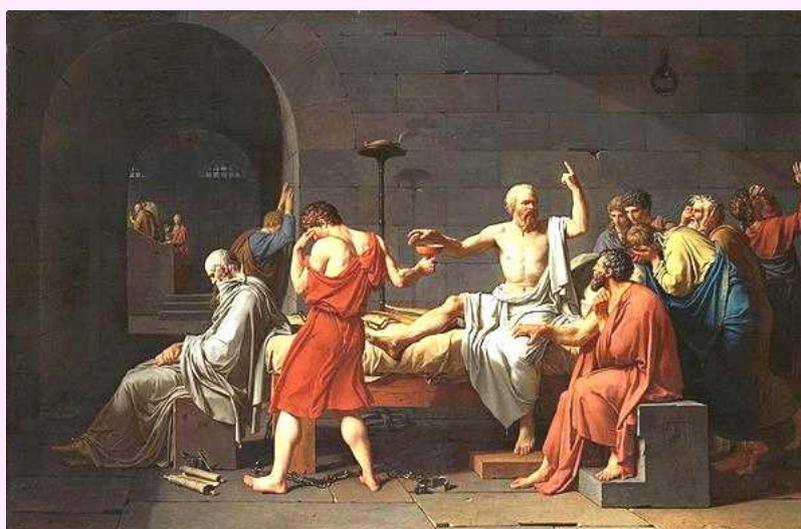
そのあと、佳世の足痛のリハビリに出かけました。リハビリの栄ペイン・クリニックはビルの2階にあるのでエレベータに乗ろうとエレベータホールに行きました。ちょうど、6台あるうちの一番奥にあるエレベータが降りてきて、30歳ぐらいの立派な体格をした女の方が一人出てきました。それに乗るには、こちらは手を取りあってのヨチヨチ歩き。間に合いません。急ぐことはないので次を待ちます。その女の方が、「止めていきましょう」といってエレベータ・ボタンを押して下さいました。エレベータもドアを開けたままで待っていてくれました。「ありがとう。ご親切に」とお礼を言って乗りました。良い方ばかりです。名古屋の人は、みなさん、親切です。

騎士道精神健在

ちょうどそのころ、地球の裏側で開かれていた米アカデミー賞の発表・授賞式で大変なことが起きていました。プレゼンターをしていたコメディアンのカリス・ロックが俳優のウィル・スミスの妻の髪形をからかう冗談をいったのです。スミスが激怒して、ステージに登り、ロックの頬に平手打ちをくらわせました。場内は、騒然となりました。スミスは、そのあと、今度は自分が主演男優賞を受賞したときのスピーチでロックを撲ったことを謝罪しました。でも、スミスよ、謝ることはない。授賞式翌日、賞を主催する芸術科学アカデミーはスミスを非難する声明を出して、「この暴行事件は州法、州条例に基づいて裁かれる」と断じました。主演男優賞も剥奪される可能性が高まっています。でも、止めていただきたい。自分の妻を公の場で侮辱されれば、夫たる者、報復して当たり前だ。夫が妻を守らなければ、だれが守る。リハビリの送り迎えだけが能ではない。これは、正当防衛である。仮令(たとへ)、縁も所縁(ゆかり)もない女性でさえ、一旦、侮辱されたとしたら、ドン・キホーテならずとも、騎士道精神に則って、男たる者、報復しないでおくものか。日本には、このときのために、「武士の一分(いちぶん)」という言葉がある。

愛知県は哲学県

あるとき、日本音楽学会の全国大会がこの地で開かれたときに、司会に立った私は、開口一番、次のようにあいさつしました — 「当地、愛知県は、知的な学会の全国大会を開くには、最高に理にかなった場所であります。なぜならば、フィロソフィだからであります」。ヤンヤの喝采を得ました。「哲学」のことを英語で「フィロソフィ」(philosophy)といいます。これは、古典ギリシア語の「フィロソフィア」(φιλοσοφία)から来た言葉で、「フィロス」は「愛する」で「ソフィア」は「知」です。日本語の「哲学」という言葉は、明治初期の知識人西周(にしあまね)が、「フィロソフィ」を「哲人の学である」といってこの訳語を決めました。でも本来は、「愛知」でなければなりません。すなわち、愛知県ほど、知識と知恵を愛し求める人たちが集うに適した場所はありません。



ソクラテスの死

「愛知者」の最初の人、ソクラテスです。彼は、当時、いい加減な「知識」(ソフィー)を売り物にする「知識人」(ソフィスト)たちが、知識や弁論術を売り物にして青年たちをだまし、アテナイの民主主義を衆愚政治に墮落させていたのを怒って、自らを、「私はソフィストではない。知識を愛し求める者だ。愛知者(フィロソフス)だ」と啖呵を切りました。デルポイの神託の巫女が、「ソクラテス以上の賢者は一人もない」と言ったほどの知識人のソクラテスです。どんなソフィストたちが集まっても、ソクラテスと論争しては負けるに決まっています。その本人が、「私はなにも知らない。知らないから、日々、知を愛し求めているのだ」というのですから、勝負になりません。日本でも、「哲学」をそのように、「学問をする者は、日々、知と知恵を愛し求めるべきだ」と謙虚に解釈すべきです。とくに、愛知県にいる私たちは。

むろん、愛知県の「愛知」は、万葉集にある高市黒人(たけちのくろひと)の「桜田へ 鶴(たづ)鳴き渡る年魚市潟(あゆちがた) 潮干(しおひ) にけらし 鶴鳴き渡る」の歌によるものであることは、知者のソクラテスは先刻ご存知でしょう。

ショパンは いま なにを思うか

いま、若いピアニストの伊藤香紀(かな)さんは、ドイツで研修の最中です。ウクライナも、ポーランドも、すぐ隣です。毎日、恐怖の世界を身近に感じて生きていることでしょう。こんなとき、ショパンの曲など、弾けるでしょうか？ 香紀さんは、この夏に帰国予定。お会いしたら、お訊きしたいものです。

都築正道